

私がごはんを好きにな。たき、かけ

雪浦小学校 五年 宿輪 亜心

私は、小さい時ごはんが好きではありませ  
んでした。私には味覚<sup>あじ</sup>過<sup>か</sup>でんという病気があ  
ります。固まりのお肉や、冷たすぎるもの、  
口の中に残るもの、ねばねばしたものが苦手  
で食べるのができませんでした。

とくに苦手だ。たのはごはんです。けれど  
けかんでも口の中にごはんの粒が残ります。  
たくさんがおと、今度はおばおばしてきて、

のみこぶことができませんでした。味も好き  
ではなか。たです。それにくわえて手の不器  
用さもあ。た私は、ごはんの粒をおはしでつ  
まむのもとてもきらいでした。なので、保育  
園の時はおにぎりにしてもら。たり、ふりか  
けをかけてもら。て食べていました。

小学校に入。てからは、どうにかおにぎり  
や、ふりかけなどがなくてもごはんを食べれ  
るようにはな。てきました。それでもまだ、  
ごはんのことはあまり好きではありませんで

した。なので給食の終わる時間までに食べ終わるのが難しく、ごはんやおかずをへらしてもらっていただきました。

私が小学校三年生になったとき、全校の親子レクリエーションで一年かけてお米を育てることにになりました。まずは田植えをしました。土がぬるぬるしていて、いねをまっすぐ下まで植えることが難しく、とても大変でした。それでも田植えが全て終わったときに見たいねは、とてもきれいならんできて、大

きく育ってほしいと思いました。

夏休みに入り、私はバレー部だったので、走って田んぼまでいねの成長を見に行っていました。見に行くたびに、いねはぐんぐん大きくなっていました。バレー部のみんなと一緒に食べるの楽しみだね。と話をしました。私はごはんがあまり好きではないけれど、自分で植えたいねの成長を見るたびに、食べるのが楽しみで、あくあくしてきました。

二学期になり、いよいよいねがりです。カマを使って手作業でいねがりをしました。いねは思っていたより右固く、カマで切るのはとても大変な作業でした。切った後のいねはしばって、竹で作った台にほしていききます。あてはいねがかんそうしたら、だことしてさらに<sup>せき</sup>精米をして完成です。いねをかたらすぐ食べれると思っていたので、まだ食べれないことにびっくりしました。

十二月になって、ようやくお米を食べる日が来ました。お母さんたちがお米でおにぎりを作ってくれました。味がなにもついていなか、たので、私はどきどきしながら一口食べました。何もつけなくても、そのおにぎりはとてもおいしくて、私は三個も食べてしまいました。ごはんが好きにな、たしゆん間でした。お米を育てて食べてから、私はごはんが大好きになれました。今ではおかわりするところもあります。小さいころの私へ。

ごはんと、おいしい。